

再生アスファルト混合物用バインダー（再生用新アスファルト）

ラスファルト 120

（旧名称：RAS バインダー120）

昭和瀝青工業株式会社

ラスファルト 120 はラスファルトシリーズのグレードのひとつで、再生骨材中の旧アスファルトの品質を回復する機能の高い再生用添加剤を配合したプレミックスタイプの再生混合物用バインダーです。

特徴

- 再生用新アスファルト 100/120 の品質規格（舗装再生便覧）に適合します。
- 再生添加剤等を配合しており、再生骨材中の旧アスファルトの性状を回復します。
- プレミックスタイプのため、再生添加剤の投入手間が省けます。
- 貯蔵温度、期間、安全管理面は通常のストレートアスファルトと同様の条件で取扱いできます。

適用混合物

再生密粒（13）での再生骨材混入率の目安は、
一般用（再生アスファルト 40～60）については 30～60%、
積雪寒冷地用（再生アスファルト 60～80）については 15～30%です。
なお、再生骨材混入率は必ず配合設計にて事前に確認をお願いします。

使用上の留意点

- 配合設計は、設計針入度または設計圧裂係数への調整を新アスファルトで行う場合に準じます。
- 混合物の製造、施工方法は新規アスファルト混合物と同等です。

表-1 バインダー性状（例）

項目	ラスファルト 120	社内規格 (新アスファルト 100/120) ※1	
針入度 (25℃)	1/10mm	118	100 を超え 120 以下
軟化点	℃	42.0	40.0～50.0
伸度 (15℃)	cm	100+	100 以上
トルエン可溶分	%	99.92	99.0 以上
引火点	℃	335	260 以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.09	0.6 以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	56.8	50 以上
蒸発後の針入度比	%	85	110 以下
密度 (15℃)	g/cm ³	1.028	1.000 以上

※1 舗装再生便覧(平成 22 年) p13 表-2.3.3

表-2 混合物性状（例）

混合物種：再生密粒（13）再生骨材 30%

設計針入度 70

再生骨材：As 量 5.0%、針入度 25

項目	性状例	基準値※2	
温度℃	混合	150	—
	締固め	140	—
マージナル	密度 g/cm ³	2.359	—
	空隙率 %	3.8	3～6
	安定度 k N	7.328	4.90 以上
	フロー値 1/100cm	30	20～40
圧裂	圧裂係数 MPa/mm	0.49	—

※2 舗装再生便覧(平成 22 年) p23 表-2.4.9